

富山高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	総合英語 V	
<b>科目基礎情報</b>						
科目番号	0194		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	商船学科		対象学年	5		
開設期	前期		週時間数	1		
教科書/教材	『海の贈り物』 (南雲堂)					
担当教員	楽山 進					
<b>到達目標</b>						
書籍の読解を通して語彙や語法を理解し、海洋や船舶に関する見識を深めることができる 与えられた題材について自分の考えを述べたり、他者の話を聞いたりすることができる						
<b>ルーブリック</b>						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1		海洋や船舶に関する専門用語を含む英文を聞いたり読んだりして、その内容を正確に理解することができる。	海洋や船舶に関する専門用語を含む英文を聞いたり読んだりして、その内容をだいたい理解することができる。	海洋や船舶に関する専門用語を含む英文を聞いたり読んだりして、その内容をほとんど理解することができない。		
評価項目2		海洋や船舶に関する基本的な表現を使って、自分の考えや身のまわりの様子を十分に相手に伝えるように話すことができる。	海洋や船舶に関する基本的な表現を使って、自分の考えや身のまわりの様子をだいたい相手に伝えるように話すことができる。	海洋や船舶に関する基本的な表現を使って、自分の考えや身のまわりの様子をほとんど相手に伝えるように話すことができない。		
評価項目3		海洋や船舶に関する基本的な表現を使って、自分の考えや身のまわりの様子を十分に相手に伝えるように書くことができる。	海洋や船舶に関する基本的な表現を使って、自分の考えや身のまわりの様子をだいたい相手に伝えるように書くことができる。	海洋や船舶に関する基本的な表現を使って、自分の考えや身のまわりの様子をほとんど相手に伝えるように書くことができない。		
<b>学科の到達目標項目との関係</b>						
<b>教育方法等</b>						
概要	船や港、貿易関係の仕事について時にコミュニケーションできる基礎的な能力を身につけるために、演習やプレゼンテーション等を通して理解させる					
授業の進め方・方法	海洋や船に関する書籍の読解を演習方式で学習する 小グループで役割を分担し、書籍の割り当て部分についてプレゼンテーションを行う					
注意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業には必ず辞書を持参する。</li> <li>船と海に関する知識を理解していないといけない。</li> <li>毎回、小テスト(音読、筆記、意見・やりとりの発表等)を行う。</li> </ul> [授業改善策] 適宜学生の到達度を確認し、適切な進捗で授業を実施する。					
<b>授業計画</b>						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス	授業のガイダンス 題材に関するプレゼンテーションの方法を理解することができる。		
		2週	Goldfish Bowls and the Pacific Ocean	題材の内容や語法を理解し、本文の内容についてプレゼンテーションを行うことができる。		
		3週	Goldfish Bowls and the Pacific Ocean	題材の内容や語法を理解し、本文の内容についてプレゼンテーションを行うことができる。		
		4週	Cultivated Fishing	題材の内容や語法を理解し、本文の内容についてプレゼンテーションを行うことができる。		
		5週	Cultivated Fishing	題材の内容や語法を理解し、本文の内容についてプレゼンテーションを行うことができる。		
		6週	The Mysterious Navigational Ability of Fish	題材の内容や語法を理解し、本文の内容についてプレゼンテーションを行うことができる。		
		7週	The Mysterious Navigational Ability of Fish	題材の内容や語法を理解し、本文の内容についてプレゼンテーションを行うことができる。		
		8週	中間試験	学習内容の定着度をチェック		
	2ndQ	9週	答案の返却	解説と復習		
		10週	How Fish Can Predict Earthquakes and Volcanic Eruptions	題材の内容や語法を理解し、本文の内容についてプレゼンテーションを行うことができる。		
		11週	How Fish Can Predict Earthquakes and Volcanic Eruptions	題材の内容や語法を理解し、本文の内容についてプレゼンテーションを行うことができる。		
		12週	Environment and Visibility	題材の内容や語法を理解し、本文の内容についてプレゼンテーションを行うことができる。		
		13週	Environment and Visibility	題材の内容や語法を理解し、本文の内容についてプレゼンテーションを行うことができる。		
		14週	Fish and Designs in Nature	題材の内容や語法を理解し、本文の内容についてプレゼンテーションを行うことができる。		
		15週	期末試験	成績評価・確認		
		16週	答案の返却	解説と復習		
<b>モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標</b>						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	

			<p>中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。</p> <p>3</p>	
			<p>中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。</p> <p>3</p>	
		英語運用能力の基礎固め	<p>日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。</p> <p>3</p>	
			<p>平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。</p> <p>3</p>	
			<p>母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。</p> <p>3</p>	
			<p>実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。</p> <p>3</p>	
		英語運用能力向上のための学習	<p>英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。</p> <p>3</p>	
			<p>母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。</p> <p>3</p>	
			<p>関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。</p> <p>3</p>	
			<p>関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。</p> <p>3</p>	
			<p>英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。</p> <p>3</p>	

評価割合

	試験	プレゼンテーション	小テスト	態度	レポート	その他	合計
総合評価割合	60	20	10	0	10	0	100
基礎的能力	30	10	10	0	0	0	50
専門的能力	30	10	0	0	10	0	50
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0